

資料編

資料1

レベル別チェックリスト

生物多様性緑化を進めるため、本編で紹介した取り組みをレベル別のチェックリストとしてまとめました。できることからはじめ、より踏み込んだ取り組みにもチャレンジしてみましょう。

必ず行うこと

内容		掲載頁	チェック
1	侵略性のある植物を使わない	56	☐
2	植栽を設けるときは、誰がどのように管理するか決めておく	61	☐
3	近隣住民等に配慮する	63	☐
4	モニタリングを行う	66	☐

レベル1 専門的な知識がなくても、すぐに取り組めるもの

内容		掲載頁	チェック
1	まずはプランターを一つ置いて緑化する	46	☐
2	花や実をつける植物を植える	50	☐
3	植える植物の種類を増やす	51	☐
4	落ち葉を残す場所をつくる	64	☐
5	草刈りをしない・頻度を減らす場所をつくる	53、64	☐
6	草地をつくる	53	☐
7	水場(バードバス、水鉢)を置く	54	☐

レベル 2 少し調べれば取り組めるもの

	内容	掲載頁	チェック
1	在来種を植える	57	☐
2	花の色・高さ・開花時期に変化をつける	52	☐
3	木の高さ・植える間隔に変化をつける	52	☐
4	侵略性のある外来種を見つけたら抜く	56、65	☐
5	目標種を設定する	36	☐
6	できるだけ農薬を使わない、有機肥料を使う	64	☐

レベル 3 手間はかかるが、さらなる効果が期待できるもの

(1) さらなる生態系の回復につながるもの

	内容	掲載頁	チェック
1	緑地全体の在来種の割合をさらに高める	57	☐
2	屋上緑化や壁面緑化を行う	47、48	☐
3	ビオトープ池をつくる	55	☐

(2) 場所の価値の向上や、取り組みの深まりにつながるもの

	内容	掲載頁	チェック
1	緑地のグリーンインフラの機能を高める	45	☐
2	緑地のストーリーを考える	40	☐
3	緑地をみんなで管理する	45	☐
4	緑地を PR する	67	☐
5	緑地を活用して自然観察会などを行う	45	☐

資料2

生物多様性を向上させる植物リスト

生物多様性緑化を進めるため、植栽に積極的に活用したい植物種をリストにしました。

名古屋市内に分布する在来種(グリーンデータブックあいちの分布リストで、名古屋市内に記載のあるもの)のうち、植栽種として園芸店や造園業社等から入手可能な種を選定しています。

なお、「名古屋市版レッドリスト 2020」に記載のある種は除いています。

	凡例				一:データ不足				凡例				:開花時期				:実のなる時期				
種名	生きもの利用				開花時期・実のなる時期												日照条件				
					春				夏				秋					冬			
	蝶	蜂	鳥類	他昆虫等	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2					
高木類(常緑樹)																					
アカマツ			●																日向		
アラカシ	●		●																日向		
イヌマキ			●																日向		
クロガネモチ			●																日向～日向、半日陰		
クロマツ			●																日向		
シラカシ	●		●																日向～日向、半日陰		
ソヨゴ		●	●																日向、半日陰～半日陰		
タブノキ	●		●																日向～日向、半日陰		
ツブラジイ			●																日向		
モチノキ			●																日向、半日陰～反日陰、日陰		
ヤブニッケイ	●																		日向～日向、半日陰		
ヤマモモ			●																日向～日向、半日陰		
高木類(落葉樹)																					
アオハダ			●																日向		
アキグミ	●		●																日向～日向、半日陰		
アキニレ	●		●																日向		
アズキナシ			●																日向		
アベマキ	●		●																日向		
イロハモミジ	●		●	●															日向～日向、半日陰		
エノキ	●		●	●															日向、半日陰		
カラスザンショウ	●		●																日向、半日陰		
クリ	●	●		●															日向		
コナラ	●		●	●															日向		
ネムノキ	●		●	●															日向		
ハンノキ	●		●	●															日向		
ホオノキ		●	●	●															日向		
ミズキ	●		●	●															日向		
ムクノキ			●																日向		
ヤマザクラ	●		●																日向		

		凡例				一:データ不足				凡例				:開花時期				:実のなる時期			
種名	生きものの利用				開花時期・実のなる時期																日照条件
					春			夏			秋			冬							
	蝶	蜂	鳥類	他昆虫等	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2					
中木類(常緑樹)																					
イヌツゲ			●																	日向～日向、半日陰	
ウバメガシ	●																			日向～日向、半日陰	
カナメモチ			●																	日向	
カクレミノ	●		●																	日向～半日陰、日陰	
サカキ			●																	日向、半日陰～半日陰	
ヒサカキ			●																	日向～日陰	
ヒイラギ			●																	日向、半日陰	
ヤブツバキ		●	●																	日向～半日陰	
中木類(落葉樹)																					
カマツカ			●																	日向、半日陰	
エゴノキ		●																		日向	
ゴズイ			●																	日向	
マンサク	●																			日向～半日陰	
マユミ			●																	日向～半日陰	
リョウブ	●		●																	日向	
低木類(常緑樹)																					
アオキ			●	●																日向、半日陰～日陰	
アセビ	●																			日向、半日陰～半日陰、日陰	
クチナシ	●		●	●																日向、半日陰～半日陰	
シャシャンボ			●																	—	
センリョウ			●																	半日陰	
トベラ	●		●																	日向～半日陰	
マンリョウ			●																	半日陰～半日陰、日陰	
モチツツジ			●																	日向、半日陰	
ヤツデ	●		●	●																日向、半日陰～半日陰、日陰	
ヤブコウジ			●																	半日陰、日陰～半日陰	
低木類(落葉樹)																					
イヌビワ		●	●																	日向	
ウツギ	●		●																	日向～日向、半日陰	
ウメモドキ			●																	日向～日向、半日陰	
ガマズミ	●		●	●																日向～日向、半日陰	
クサイチゴ	●	●	●	●																—	
クサギ	●		●	●																日向	

	凡例 ー:データ不足				凡例 :開花時期 :実のなる時期													
種名	生きものの利用				開花時期・実のなる時期												日照条件	
					春			夏			秋			冬				
	蝶	蜂	鳥類	他昆虫等	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
コバノミツバツツジ	●			●														日向
コマユミ			●															日向
コムラサキ			●															日向～日向、半日陰
サワフタギ			●															ー
サンショウ	●		●															日向、半日陰
ズミ			●	●														ー
タラノキ			●															日向
ナツハゼ			●															日向～日向、半日陰
ニシキギ			●															日向～半日陰
ネコヤナギ		●																日向
ノイバラ			●															日向
ノリウツギ	●																	日向
ムラサキシキブ		●	●															日向、半日陰～半日陰、日陰
ヤマコウバシ			●															ー
ヤマブキ	●			●														日向～半日陰
多年草																		
アシ(ヨシ)	●		●															日向
ウツボグサ	●	●																日向
オカトラノオ	●	●																日向
ガマ	●		●															日向
カラスウリ			●	●														ー
キチジョウソウ			●															日向、半日陰～半日陰、日陰
サルトリイバラ	●																	日向
シュンラン		●																半日陰～半日陰、日陰
ススキ	●		●															日向～日向、半日陰
セキショウ	ー	ー	ー	ー														日向、半日陰～半日陰、日陰
セリ	●																	日向、半日陰
タチツボスミレ	●	●		●														半日陰
ツリガネニンジン	●	●																日向
ツルボ	●	●																ー
ネジバナ(モジズリ)		●																日向
ノアザミ	●	●		●														日向
ノコンギク	●																	日向、半日陰
ハンゲショウ		●		●														日向、半日陰～半日陰

凡例		一:データ不足		凡例		:開花時期				:実のなる時期							
種名	生きものの利用				開花時期・実のなる時期												日照条件
					春			夏			秋			冬			
	蝶	蜂	鳥類	他昆虫等	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
フキ(フキノトウ)		●	●	●													—
ミズヒキ			●														日向、半日陰
ミソハギ	●	●															日向
ムラサキサギゴケ		●															日向
ヤブラン			●	●													日向、半日陰～半日陰、日陰
ヤマノイモ	●																日向
ワレモコウ	●	●		●													日向
ツル植物																	
キヅタ			●	●													日向、半日陰～半日陰、日陰
サネカズラ(ビナンカズラ)			●	●													日向、半日陰～半日陰
スイカズラ	●		●														日向
ツルウメモドキ			●														日向
テイカカズラ		●															日向～半日陰
ナワシログミ			●														日向～半日陰
ムベ	●																日向～日向、半日陰
フジ(ノダフジ)	●																日向

資料3

都心の生きものの復活事業・モデル事業の紹介

名古屋駅地区

場 所	名古屋駅前おもてなし花だん
実施団体	名古屋駅地区街づくり協議会（令和3年度モデル事業）

生物多様性緑化への希望・制約

- ・花壇には名古屋への来訪者をおもてなしする役割があるので、華やかな花壇は維持したい。
- ・常に花が咲いているようにするため、年2回、植え替えをしており、今後も継続予定。

行きついた壁

- ・在来種は地味な印象が強いため、どのように華やかな花壇を維持するのか。

行った工夫

- ・これまでどおりの華やかな園芸種を主体に、一部にこの地域の在来種を植えることにした。
- ・植える在来種は、なるべく花壇の一番奥に植えるなど、年2回の植え替えや維持管理がしやすいように配慮し、共存できるようにした。
- ・上記に加え、花壇全体の一部に、在来種を主体とする一角を設けた。



テッセン、ユリ、キキョウなど



専門家による維持管理



生物多様性緑化を伝える看板



宿根サルビアとイチモンジセセリ
(8月)



ヤマブキに飛来したヤマトシジミ
(10月)



クチナシの葉を食べる
オオスカシバ(10月)

名古屋駅地区

場 所	大名古屋ビルディング
実施団体	三菱地所プロパティマネジメント(株)名古屋支店 (令和3年度モデル事業)

生物多様性緑化への希望・制約

- ・ビル全体の緑化構成もあり、既存のものから大きくイメージを変えることは困難。
- ・植物が枯れてしまったエリアの植え替えを行いたい。
- ・常緑の植物が良い。

行きついた壁

- ・既存のイメージを踏襲しつつ、どのような在来種を植えるか。

行った工夫

- ・これまでの緑化のイメージを崩さず、環境の変化に強い在来種を植えることにした。



高木の足元に植栽した
ヤブラン、キチジョウソウ、シャリンバイ



アラカシ
(スカイガーデン)



事業を PR するデジタルサイネージ
(地下)



ヒヨドリ
(6月・スカイガーデン)



キチジョウソウに訪れた
ヤマトシジミ(6月)



赤い実を付けた
センリョウ(11月)



シャリンバイの実 (11月)

名古屋駅地区

場 所	グローバルゲート
実施団体	大和リース(株)名古屋支社（令和4年度モデル事業）

生物多様性緑化への希望・制約

- ・植物が枯れてしまった部分の植え替えを行いたい。
- ・既存の植栽とのバランスを考え、植栽種はなるべく限定したい。
- ・維持管理が簡単で、枯れにくい植栽にしたい。

行きついた壁

- ・どのような在来種をどのように組み合わせるか。

行った工夫

- ・場所ごとにそれぞれ 3 種類の在来種を組み合わせで混植した。
- ・1 階西側には低木を中心に地面を覆う植物の組み合わせとし、多様な環境を生み出すとともに乾燥対策とした。
- ・4 階屋上庭園は日照不足に耐えられる植物を組み合わせた。



植栽前



社員参加の植栽作業



(コムラサキ、ガマズミ、マユミ)



植栽後

(ヤマツツジ モチツツジ、ウツボグサ)



(タチツボスミレ、オカトラノオ ミズヒキ)

栄地区

場 所	久屋大通庭園「フラリエ」
実施団体	(公財)名古屋市みどりの協会 久屋大通庭園事務所 (令和3年度モデル事業)

生物多様性緑化への希望・制約

- ・庭園のコンセプトが洋風ガーデンであるため、それに合った植物にしたい。
- ・フラリエでは、既にバタフライガーデンプロジェクトとして、チョウを呼び寄せる取り組みを始めているので、それに沿った内容としたい。

行きついた壁

- ・洋風ガーデンのイメージを妨げず、在来種をどのように使用するか。

行った工夫

- ・生きものを呼ぶことを主眼に置き、在来種のみを使用にはこだわらないことにした。
- ・入口近くのフラリエコートには、レモンの鉢を置きチョウを呼ぶことにした。
- ・庭園奥の花壇に、在来種を使用した一角を設けた。



植栽作業中



幼虫に食べられ葉が少なくなった鉢は一時的にバックヤードへ



ナミアゲハの羽化を観察後、園内に放す



レモンの木に訪れる昆虫を狙うカマキリ



レモンの木とウツボグサ (7月)

栄地区

場 所	名古屋東急ホテル
実施団体	(株)名古屋東急ホテル(令和3年度モデル事業)

生物多様性緑化への希望・制約

- ・客室から見ると低い側の建物の屋上部分が殺風景なので、緑化を行いたい。
- ・屋上部分の耐荷重の制約があり、重量がある緑化は困難。
- ・夏の暑さが厳しく、強い風が吹く場所であり、これらに耐えられる植物であることが必要。

行きついた壁

- ・どういう緑化手法を採用すれば良いのか。
- ・厳しい条件に合う在来種はあるのか。
- ・どのような生きものを呼べば良いのか。

行った工夫

- ・給水塔のベース部分にプランターを設置し、壁面緑化を行うことにした。
- ・暑さ等に強い園芸種などを主体とし、一部で、在来種を植えることにした。
- ・コンセプトを「バタフライチャレンジ」とし、チョウを呼ぶプロジェクトとした。



植栽後の全体風景



花をつけたシモツケ(5月)



ヤマハギの花とキンカンの実(10月)



ユズの葉を食べて育つ
ナミアゲハの幼虫(6月)



事業内容を伝えるポスター



立ち枯れた植物の姿も
自然の景として見せる(1月)

栄地区

場 所	マルエイギャラリー
実施団体	大和ハウスリアルティマネジメント(株)（令和4年度モデル事業）

生物多様性緑化への希望・制約

- ・施設の顔となるような華やかな植栽としたい。
- ・実施場所は多目的のオープンスペースであり、イベント等を行うための空間は確保したい。
- ・建物近くであり、日当たりがあまりよくない。

行きついた壁

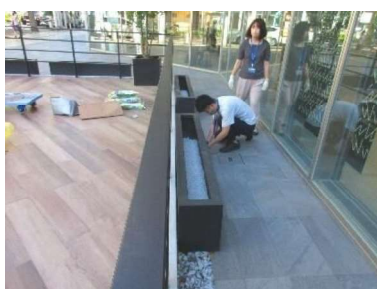
- ・在来種を使って、どのように華やかさを確保するか。
- ・通路やオープンスペースを確保しつつ、どのように植栽を配置するか。

行った工夫

- ・四季を通じて彩りが得られるよう、約30種類の在来種を使った多様な植栽とした。
- ・遠くからでも目立つようなシンボルツリーとなるような高木を2本配置し、柵に巻き付く性植物を利用するなど、メリハリのある植栽とした。
- ・建物近くには半日陰を好む植物を中心に配置した。



シンボルツリーとなるアズキナシを中心とした大型プランターを設置



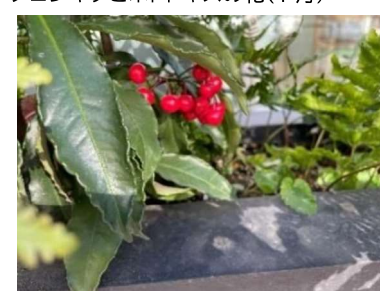
プランターの設置(9月)



冬になっても咲き続けるノコンギクとホトギスの花(1月)



実をつけたソヨゴ（11月）



冬に実をつけるマンリョウ
シジュウカラが訪れる（1月）

丸の内地区(官庁街)

場所	名古屋市役所 西庁舎 正面玄関前花壇
実施団体	名古屋市環境局（令和3年度モデル事業）

生物多様性緑化への希望・制約

- ・何も植えられていない花壇を生物多様性に配慮した花壇にしたい。
- ・歩道等に枝がはみ出さない、トゲ等がない危険でない植物であることが必要。

行きついた壁

- ・どういう在来種を植えれば良いのか。
- ・どのような生きものを呼べば良いのか。

行った工夫

- ・在来種のみを使用した花壇とした。
- ・近隣の大規模な生きものの生息拠点である、名古屋城・名城公園にある在来の植物を選び、これらの場所を利用する生きものを都心部に向けて誘うコンセプトとした。
- ・大きくなりすぎない種等を選定するようにした。



植栽から3ヶ月後の様子(6月)



事業をPRする看板



コアジサイの花(5月)



サンショウの葉を食べるナミアゲハの幼虫
(6月)



ツリガネニンジン(花)の(9月)



ミズヒキの花(10月)

生物多様性緑化には、既存の緑化に関する助成制度等を活用することが可能です。行政・各種団体が実施する支援制度の中から主なものを紹介します。

助成制度

新規緑化

みどりの補助金(名古屋市 民有地緑化助成事業)	
対 象	屋上緑化、壁面緑化、空地(地上部)緑化、駐車場緑化、生垣設置工事
条 件	・緑化工事が未着手で、新たに緑化する面積が 50 m ² 以上等の条件がある。 ・市の評価(NICE GREEN なごや)で「☆☆(良好な緑化)」以上の評価等を受ける必要がある。
助 成 金 額	・助成対象工事費の 2 分の 1 以内で対象緑地ごとに条件が設定されている。
U R L	https://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/page/0000008309.html

<参考> 緑化施設評価認定制度「NICE GREEN なごや」

概要

- ・希望者の申請により、名古屋市内の建築物の敷地内などで整備される緑化施設の内容を、市が一定の基準により評価し、ランクを認定する制度。認定ランクに応じて認定証や認定ラベルが発行される。
- ・緑化施設の認定ランクに応じて、融資や補助などの優遇が受けられる場合がある。

申請可能な緑地

- ・緑化義務のない建築物や既存の緑地でも申請が可能。

詳細はウェブサイトを参照

<https://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/page/0000008208.html>

公開空地における植栽の付け替え

公開空地等環境整備助成金(名古屋市)	
概 要	公開空地等の再整備等によって居心地が良く歩きたくなる空間づくりに取り組む事業者に対し、そのために要した費用の一部を助成
対 象 場 所	1 総合設計制度に基づく公開空地 2 都市再生特別地区・特定街区・市街地再開発事業・地区計画において整備された空地等 3 都市再生整備計画に位置付けられた滞在快適性等向上区域内の道路・公園等
対 象 者	1 対象となる公開空地等の所有者または管理者 2 対象となる公開空地等を有する建築物の賃借人等のうち、所有者から同意を得た方
助 成 内 容	対象となる公開空地等において、滞在快適性の向上や歩行者の利便増進を図ることを目的として、再整備や備品調達などの環境整備を行う場合に必要となる経費の一部(助成限度 50 万円)を助成
U R L	https://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000135508.html

協働によるビオトープの創出

あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業交付金(愛知県)	
概 要	「あいち森と緑づくり税」を活用して、県民、事業者、NPO、行政等の地域の様々な立場の人々が協働して、生き物の生息生育空間を保全・再生・創出し、地域の生態系ネットワークを形成する事業を支援する制度
対 象 経 費	生態系ネットワーク形成に資するビオトープの創出や維持・向上、ビオトープ整備のための調査に要する経費(なお、本事業により整備したビオトープについては、事業主体が責任をもって維持管理することが必要)
対 象 者	・生態系ネットワークの形成を目的とする、NPO・ボランティア団体・農協・漁協・森林組合・自治会・大学・企業・市町村等の複数の団体から構成される団体 (応募団体には規約が必要) ・応募には事業計画書の提出が求められ、審査の上、採択された計画に対して経費の一部が交付される。
交 付 率 ・ 限 度 額	・対象事業に必要な経費のうち知事が認める経費の 10 分の 10 以内 ・1 件あたり 300 万円
U R L	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/nwkeisei2022.html

NPO、団体向けの助成

環境市民活動助成(一般財団法人セブン-イレブン記念財団)	
概 要	セブン-イレブン記念財団の「環境市民活動助成」は、セブン-イレブンの店頭募金を通して、地域の環境市民活動を支援する助成制度
対 象 者	・環境活動を行っている国内の NPO 法人、一般社団法人、任意団体(自治会、町内会含む) ・日本国内に活動の場を有する団体 ・地域住民が主体的に行う非営利の活動 等
対 象 活 動	・地域美化助成:公共性の高い場所で年間を通じて行われる清掃活動や、低木の苗木(成木時に 2m 以下の品種)、草花の種・苗・球根を植え、育てる活動(1団体あたり最大 50 万円) ・活動助成:自然環境保護や生物多様性の保全、気候変動対策、脱炭素化をめざす取り組みなど、市民が主体となって行う環境活動を 1 年間支援(1団体あたり最大 100 万円)
U R L	https://www.7midori.org/josei/josei/koubo/

緑化によるヒートアイランド対策への助成

緑化を中心としたヒートアイランド対策(公益財団法人 高原環境財団)	
対 象 者	日本国内に所在する法人、地域活動団体。
対 象 事 業	(1) 屋上、(2) 建物の外壁面、(3) 駐車場、(4) 空地、(5) プランター等で行う新たな緑化事業
対 象 規 模	新たに緑化を行う面積が 30 m ² 以上、プランター等は 15 m ² 以上
助 成 費 用	新たな緑化を行うのに必要な、工事費用(助成対象費用の額、または 250 万円のいずれか少ない額)
U R L	https://takahara-env.or.jp/activity/

融資制度

中小企業向けの融資・利子補助

名古屋市環境保全・省エネルギー設備資金融資(名古屋市)	
概 要	中小企業の方々が、名古屋市内で公害防止や省エネルギー推進などの環境保全対策を実施するための資金を長期かつ低金利で融資
対 象 事 業	建築物、設備及び敷地の緑化
融 資 対 象	市内で事業を営んでいる中小企業者、中小企業団体で、いくつかの条件に当てはまる事業者
融 資 額	・融資限度額の範囲内において、原則必要経費の全額を融資
融 資 利 率、 利 子 補 助	【融資利率】 年 1.3%(融資額 5,000 万円以下の中小企業者及び中小企業団体) 年 1.5%(融資額 5,000 万円超の中小企業者) 【利子補助】 支払った利子は、申請により原則全額補助を受けることができる。
U R L	https://www.city.nagoya.jp/jigyou/category/38-3-20-1-0-0-0-0-0-0.html

「都心の生きものの復活事業」ガイドラインの策定等に係る懇談会

委員名簿

氏 名	役 職 等
新 井 康 司	岩間造園株式会社 執行役員 営業部長 (一般社団法人 愛知県造園建設業協会 名古屋支部)
加 藤 正 嗣	都市の自然のモノサシ研究会
河 崎 泰 了	株式会社竹中工務店 名古屋支店 営業部
佐 藤 正 吾	公益財団法人京都市都市緑化協会 事務局長
戸 田 尚 希	名城大学農学部生物資源学科 研究員
豊 田 幸 夫	エコ&ヒーリングランドスケープコンサル 代表
橋 本 啓 史	名城大学農学部生物環境科学科 准教授
長谷川 明子	ビオトープ・ネットワーク中部 会長
長谷川 泰洋	なごや生物多様性保全活動協議会 会長
増 田 理 子	名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
森 本 幸 裕	京都大学 名誉教授
◎ 山 田 宏 之	大阪公立大学農学部緑地環境科学科 教授

(注)敬称略、五十音順 ◎ 座長

検討経緯

日 程		検 討 内 容
2022年9月5日	第1回懇談会	・ガイドラインについて ・協働の仕組みづくりについて
2022年11月29日	第2回懇談会	・ガイドラインについて ・協働の仕組みづくりについて
2023年1月30日	第3回懇談会	・ガイドラインについて ・協働の仕組みづくりについて
2023年3月末	なごやのまちなか生物多様性緑化ガイドライン 策定	